

(3) 平成27年度以降の企画展(案)について

① 平成27年度

(仮称)新幹線飯山駅開業記念展『北陸新幹線・エンセン美術館』

◇会期:9月上旬～11月中旬(予定)

◇内容:新幹線飯山駅開業と北陸新幹線の長野以北延伸を記念し、本企画を『芸術文化を通して各地域をつなぐ“エンセン(沿線)美術館”』と位置付け、沿線各地ゆかりの美術家を紹介する。長野県を含む沿線地域四県(長野県・新潟県・富山県・石川県)から、飯山市・黒部市・上越市3地域の郷土ゆかりの美術家を紹介し、改めて地域文化の創造芸術を発信する拠点として活動の充実をはかる。

飯山ゆかりの美術家として、当館は長谷川青澄(日本画家)・佐藤武造(洋画家)・箕口博(彫刻家)を紹介する。いずれも大正～平成期に活躍した美術家で、各人の傑出した個性は飯山の尊い財産であり飯山の魅力である。沿線各地域からは、彼らと同時代に活動していた美術家を紹介する。

◇出品予定作家

飯山市:佐藤武造(1891-1972/洋画)、長谷川青澄(1916-2005/日本画)、
箕口 博(1923-1977/彫刻)
*飯山市美術館所蔵作品
*長谷川青澄作品は長野県信濃美術館所蔵作品を借用予定

上越市:牧野虎雄(1890-1946/洋画)、富岡惣一郎(1922-1994/洋画)、
滝川毘堂(1914-1980/彫刻)
*上越市立総合博物館所蔵作品を借用予定

黒部市: 出品作家選定中 *黒部市美術館所蔵作品を借用予定

② 平成28年度

(仮称)新幹線飯山駅開業記念展『北陸新幹線・エンセン美術館』第2弾

◇会期:平成29年9月上旬～11月上旬 *会館日数50～60日程度

◇内容:平成27年度で紹介した黒部以降金沢までの沿線各地ゆかりの美術家を紹介する。(飯山市ゆかりの作家も含めながら)

③ 平成 29 年度

(仮称) 中川岳二展 (案)

◇会期：平成 29 年 9 月上旬～11 月上旬 *会館日数 50～60 日程度

◇内 容：中野市在住の木作家を紹介。樹木の色や木目を活かし、その組み合わせにより文様などを描く^{よせぎ} 寄木・^{もくぞうがん} 木象嵌という技法で作品を制作し、作品の大きさに関わらず、すべてにおいて精巧で緻密な精度の高い作品の数々を展示する。

大学卒業後に祖父母がいた中野市へ移住し工房を開設したが、生活と制作の両立、自身の制作活動の方向性に苦悩していたとき、たまたま飯山市内のギャラリーで作品展を開催し、このときの『出会い』や『経験』が現在の創作活動に影響を与えているとのこと。

現在の活動の原点が飯山で開催した作品展であったことから、飯山市美術館で企画展を開催したい。

「ずっと大切にしてもらえるもの、子供のためになるものをつくりたい」という思いから生まれた作品の数々は、子供のみならず大人や高齢者まで幅広い評価を得ており、既に国内外で活躍している。今後ますますの活躍が期待され、飯山でもぜひ紹介したい若手作家のひとりである。これまで各地で個展やグループ展を行い紹介してきた作品に加え、飯山ならではの作品を制作すること、この地にちなんだ新作が期待される。また会場内には、実際に手で触れて遊ぶことのできるプレイスペースを設ける予定である。

◇中川岳二 略歴

- 1978年 長野県生まれ埼玉県育ち
- 2000年 丹波の森ウッドクラフト展 奨励賞
- 2001年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業
- 2004年 全国木のクラフト展 特別賞
- 2005年 6th S. I. C. F. 審査員特別賞
- 2006年 テイクジー・ブロック、テイクジー・ズー販売開始
- 2007年 松屋銀座「シーズンスタジオ」にて個展
「スペース アルテマイスター」にて個展
- 2008年 「ギャラリーミタテ」にて個展
- 2012年 『NAGANO 新 CONCEPTUS—長野ゆかりの若手アーティスト 10 人展—』
出展 (志賀高原ロマン美術館にて)
- 2013年 『信州の工芸作家展 4 人の作家の表情』出展 (世界の民俗人形博物館にて)
- 2014 年 中川岳二作品展『こてんこてん展～ここは信州中野だよ～』開催
(蔵のギャラリー「のらりくらり」にて)